

令和5年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年2月14日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL <https://www.nagahori.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吾郷 雅文 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	13,233	2.6	297	39.1	285	50.4	△37	ー
4年3月期第3四半期	12,902	ー	214	ー	189	ー	113	ー

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 17百万円 (△83.5%) 4年3月期第3四半期 103百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	△2.47	ー
4年3月期第3四半期	7.43	ー

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期第3四半期	24,732	12,045	48.7	785.49
4年3月期	23,863	12,059	50.5	786.37

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 12,045百万円 4年3月期 12,059百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	ー	0.00	ー	2.00	2.00
5年3月期	ー	0.00	ー		
5年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.4	400	38.8	400	58.0	50	△69.5	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期3Q	16,773,376株	4年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	5年3月期3Q	1,437,984株	4年3月期	1,437,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期3Q	15,335,407株	4年3月期3Q	15,335,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限や経済活動に影響する制限も緩和され、回復へ向かう兆しが見られるようになりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波による自主的な行動制限のような潜在的な不安に加え、急激な円安の進行や、ロシアのウクライナ侵攻等による原料・エネルギー価格の上昇に伴う世界的なインフレの加速等、引き続き先行きの不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大対策による制限が緩和されたことで販売動向は回復傾向であるものの、感染拡大に対する自主的な行動制限の影響、大幅な円安方向への為替水準の変動、インフレ圧力の影響など、先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、感染症の拡大による影響がある中で感染症対策を継続しつつ、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。また、財務の安定のため当座貸越契約締結による財務基盤強化、販売増をにらんだ商品仕入の強化や経費支出のコントロール等を図るとともに、海外からの引き合いの活発化への対応、インターネット販売等のITツールを活用した販売促進、自社ブランドの販売促進等にも取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は132億33百万円（前年同期比 2.6%増）、営業利益2億97百万円（前年同期比 39.1%増）、経常利益2億85百万円（前年同期比 50.4%増）と黒字を確保しましたが、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況を踏まえた緊急対応及び関連する株主対応等に係るアドバイザー費用2億59百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益1億13百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

宝飾事業の売上高は131億38百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は2億38百万円（同55.4%増）、貸ビル事業の売上高（外部顧客）は60百万円（同1.4%減）、セグメント利益は43百万円（同4.2%増）、太陽光発電事業の売上高は33百万円（同8.3%減）、セグメント利益は15百万円（同16.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は247億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億68百万円の増加となりました。

流動資産は176億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億22百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が5億円、商品及び製品が3億20百万円及び原材料及び貯蔵品が2億88百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1億66百万円減少したことによりです。

固定資産は70億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が1億16百万円減少したことによりです。

(負債)

負債は126億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億82百万円の増加となりました。

流動負債は110億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億55百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億51百万円、短期借入金が1億57百万円それぞれ増加したことによりです。

固定負債は16億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が86百万円減少したことによりです。

(純資産)

純資産は120億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円及び剰余金の配当30百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、令和4年11月9日発表の業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,526,326	3,360,205
受取手形及び売掛金	2,583,097	3,083,440
商品及び製品	9,305,937	9,626,452
仕掛品	329,552	311,001
原材料及び貯蔵品	736,448	1,024,898
その他	280,547	278,990
貸倒引当金	△17,103	△17,980
流動資産合計	16,744,806	17,667,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,434,438	1,380,158
機械装置及び運搬具(純額)	173,044	158,261
土地	3,300,254	3,276,198
その他(純額)	266,792	243,803
有形固定資産合計	5,174,530	5,058,421
無形固定資産	30,957	41,657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,022,881	1,110,766
長期貸付金	19,711	19,631
繰延税金資産	128,219	117,598
その他	956,675	930,331
貸倒引当金	△213,976	△213,016
投資その他の資産合計	1,913,511	1,965,311
固定資産合計	7,118,999	7,065,390
資産合計	23,863,805	24,732,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,208	1,426,294
短期借入金	8,670,000	8,827,500
1年内返済予定の長期借入金	115,504	115,504
未払法人税等	72,788	46,842
賞与引当金	57,794	26,257
役員賞与引当金	4,200	3,150
その他	416,196	622,122
流動負債合計	10,111,691	11,067,670
固定負債		
長期借入金	562,880	476,252
退職給付に係る負債	643,057	630,940
役員退職慰労引当金	225,261	239,183
繰延税金負債	8,958	32,568
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	203,676	191,185
固定負債合計	1,692,674	1,618,970
負債合計	11,804,366	12,686,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	1,638,874	1,549,650
自己株式	△481,433	△481,530
株主資本合計	12,756,580	12,667,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,297	73,795
土地再評価差額金	△732,828	△712,196
為替換算調整勘定	15,389	16,900
その他の包括利益累計額合計	△697,142	△621,500
純資産合計	12,059,438	12,045,759
負債純資産合計	23,863,805	24,732,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	12,902,424	13,233,010
売上原価	9,484,723	9,708,369
売上総利益	3,417,701	3,524,641
販売費及び一般管理費	3,203,686	3,226,905
営業利益	214,015	297,735
営業外収益		
受取利息	110	105
受取配当金	18,980	19,066
為替差益	7,992	2,684
保険返戻金	3,175	16,636
その他	10,518	12,219
営業外収益合計	40,776	50,711
営業外費用		
支払利息	62,940	62,217
その他	2,341	1,166
営業外費用合計	65,282	63,383
経常利益	189,509	285,063
特別利益		
投資有価証券売却益	8,721	—
固定資産処分益	—	18,129
助成金収入	138,390	13,706
特別利益合計	147,111	31,835
特別損失		
新型コロナウイルス対応による損失	145,796	10,476
アドバイザー費用	—	259,031
特別損失合計	145,796	269,507
税金等調整前四半期純利益	190,824	47,391
法人税、住民税及び事業税	72,996	74,692
法人税等調整額	3,841	10,621
法人税等合計	76,837	85,313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113,986	△37,921
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	113,986	△37,921

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113,986	△37,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,609	53,497
為替換算調整勘定	64	1,511
その他の包括利益合計	△10,545	55,009
四半期包括利益	103,441	17,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,441	17,087
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自令和3年4月1日 至令和3年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	12,804,045	—	—	12,804,045	—	12,804,045
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	37,063	37,063	—	37,063
顧客との契約から生じ る収益	12,804,045	—	37,063	12,841,109	—	12,841,109
その他の収益	—	61,315	—	61,315	—	61,315
外部顧客への売上高	12,804,045	61,315	37,063	12,902,424	—	12,902,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,441	—	9,441	△9,441	—
計	12,804,045	70,756	37,063	12,911,866	△9,441	12,902,424
セグメント利益	153,545	41,704	18,765	214,015	—	214,015

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自令和4年4月1日 至令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	13,138,590	—	—	13,138,590	—	13,138,590
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	33,973	33,973	—	33,973
顧客との契約から生じ る収益	13,138,590	—	33,973	13,172,563	—	13,172,563
その他の収益	—	60,447	—	60,447	—	60,447
外部顧客への売上高	13,138,590	60,447	33,973	13,233,010	—	13,233,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,441	—	9,441	△9,441	—
計	13,138,590	69,888	33,973	13,242,452	△9,441	13,233,010
セグメント利益	238,627	43,441	15,666	297,735	—	297,735

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。